

プログラム名 (40年以内)	紀州アメリカ村で学ぶ、地域の過去と未来を考える		
団体名/所属	東京大学大学院農学生命科学研究科/NPO法人日ノ岬アメリカ村理事		
活動区分	農林水産業などに関わる地域体験活動:フィールドワーク体験活動	希望する選考方法	先着順
募集人数	8人	選考対象	大学院学生を含む
活動方法	オンラインを活用しつつ現地活動を行う		
参加者に求めるもの	日系移民の歴史、地域おこし、田舎のリアルのいずれかに興味がある人		
活動期間	(予定)2024/11/2(土)~11/4(月・振替休日)	主な活動予定場所	和歌山県日高郡美浜町三尾地区口
プログラム実施の目的	かつてカナダへ出稼ぎ移民し、日系カナダ人のルーツとなった紀伊半島、その中でも「アメリカ村」と呼ばれた移民母村の三尾集落は日系カナダ人を多く輩出した村としてかつて知られていました。今はカナダ移民も途絶え、高齢化率が50%を超える過疎地域でありながら、地域の歴史や文化を活かした活動ができています。本ワークショップでは、地域という「ローカルな魅力」を引き出し、グローバルに人気を集める「グローバルな地域」を作ろうとしている現場に来ていただき、歴史や文化という過去から蓄積してきた地域についてをこれからの地域の未来を考えます。		
具体的な内容(800字程度)	<p>・活動先 和歌山県美浜町三尾集落 カナダミュージアム</p> <p>・企画内容(仮案)</p> <p>1日目午後 導入 NPO法人理事(三尾)からカナダ移民について、三尾地域についての説明をします。カナダミュージアム、カナダ資料館を訪問し、歴史保存の現状と基礎知識を得ます。</p> <p>2日目午前 フィールドワーク1 (歴史を「知る」)</p> <p>三尾の散策、古民家、資料館、産業に始まるその地域の特色を実際に歩き回ることによって体験します。地域の歴史を学ぶ中、高生たちと一緒に地域の高齢者の方やカナダ移民関係者の方にインタビューを行います。</p> <p>2日目午後~3日目午前、フィールドワーク2 (歴史を「活かす」)</p> <p>地域の歴史や文化を次世代につなげるいくつかの取り組みを紹介します。</p> <p>①日系カナダ人の歴史を次世代につなげる展示作りと次世代教育 (Kataribe, Jr)</p> <p>②地域の名産を使ったラーメン 屋開発 (種と向かって「みお」)</p> <p>③Uターン者、移住者による開業(おはな結び、道草屋、白鳥商店など)</p> <p>※本フィールドワークは厳密なタイムスケジュールを定めず、その場でのセレンディピティに応じて自由に散策してもらいたいと考えています。そのため、上記に書いた内容を網羅できない可能性があります。ご了承ください。</p> <p>3日目午後 滞在を振り返り、地域の魅力に感じたことを言語化し、参加者の声を地域に残します。</p> <p>地域の歴史を知った上で、地域でどのような生活が広がっているのか、これからの「地域」がどうなっていくのかを考えます。</p>		
【総額】参加するための費用	52,000円		
【内訳】参加するための費用(宿泊費)	10,000円		
【内訳】参加するための費用(交通費)	36,000円		
【内訳】参加するための費用(その他)	6,000円		
奨励金額(予定)	25,000円		
備考	<p>交通費:東京-御坊駅-アメリカ村バス停 往復 宿泊費:宿泊は三尾集落にあるゲストハウスを予定している 参考:Guesthouse & bar ダイヤモンドヘッド、遊心庵 活動費:現地飲食費</p>		
活動に関する関係資料のダウンロードサイト	https://hidakashimpo.co.jp/?p=89315		
応募団体を紹介するウェブサイト等(団体に応募の場合)	http://americamura.wakayama.jp/		
この企画に対する担当者(応募団体の参加の有無)	参加する		